

自己実現への道

第100回－第8章「信念さえあれば必ず道は開ける」(その4)

★ 自分の計画の大きさに応じて成長する

- ・自分はこの人生でどんな善行をなすことができるであろうか、と考えてみたことはないか？
- ・私は意義のあることなど何もしていないという思いに時として駆られることはないか？
- ・他人の業績をみて、私はダメな人間だ、という思いにとらわれることはないか？
- ・自分はちっぽけな人間にすぎないと思ったことないか？

では、次は次の言葉に耳を傾けていただきたい。

人間は、自分が支持するプロジェクトの大きさに応じて成長する。

ちっぽけな人間とは、何か大きなことをしようとする積極思想方の人物に、何かとケチをつける消極思考型の連中のことである。自分を高めるか、自分を低きに置くのかの違いはどちらの側の人間に組するかによって決まる。

積極的なプロジェクトを達成しようとしている積極人間に拍手喝采をおくり、励まそう。彼らをほめたたえ、背後から守ってやろう。彼らはあらゆる支援を必要としている。彼らは多くの善意のある人々の支援なくしては絶対に成功できないのである。

次のことを心に留めておこう。

不可能なことに挑戦し、あなたの励ましと支援を必要としている人々に拍手を送るように努めよう。人生の終末を迎えた時、あなたは立派な仕事にパートナーとして参加したことに満足を覚えるであろう。あなたが支援した人物や大事業と同じように、あなたも大きく成長しているであろう。

時間は有限である。何もかもすることはできないだろう。しかし、あなたの力の及ぶ範囲で**関連のある人々を励まし、彼らを成功させてあげよう**

(成功するように仕向けてあげよう)

そうすれば、見えざる真理によって、あなたの人生はより多く発展するであろう。

もちろん、あなたもできるだけ大きなことを目指さなければ駄目だ。



<MIKO>

参考文献：Tough Minded Faith For Tender Hearted People by Robert H Schuller より